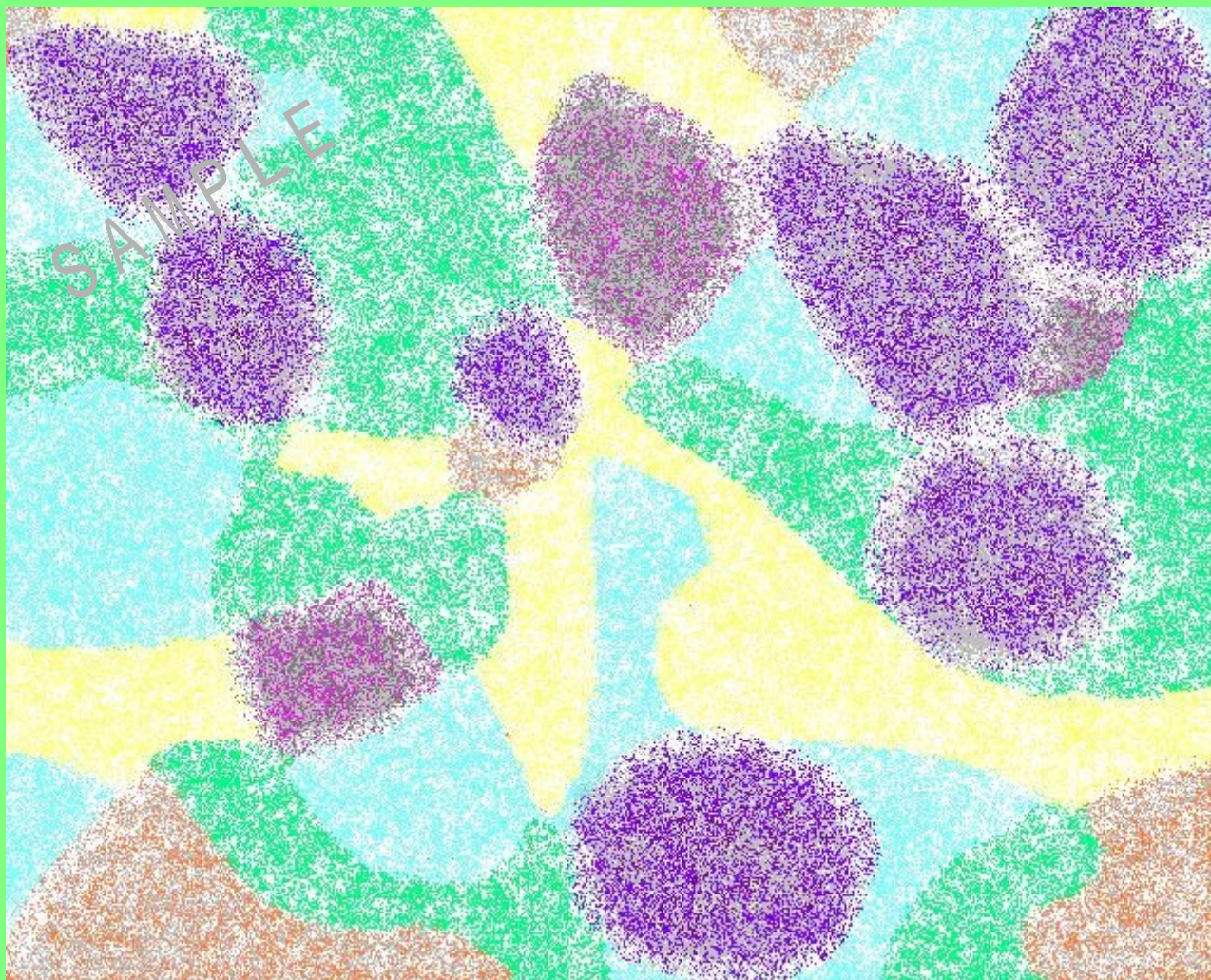


私史心象



光畑昌子
作・絵

祖父

祖父の家の 庭に母の 実がなった 一番遠く 鮮やかな記憶

笑顔しか 思い出せない 祖父の顔 それほどまでに 愛でてくれたの



幼子の 遊ぶ隣に 横たわる 病の祖父は 影薄くなり

先細る 祖父は私と 別れるを 死ぬことよりも 辛いと言った

弔いの 意味さえ知らず はしゃぐ子は 甘える人ひとり亡くしたり

